

陽平だより

天理教陽平分教会
出雲市平田町7638
0853-63-2806

陽平分教会創立80周年記念祭 6月15日

昭和8年4月24日、同じ雲陽部内の陽直分教会(斐川町上直江)と共に、教会設立のお許しを頂いて80年。6月15日、6月月次祭に併せて、80周年記念の思いを込めて、つとめさせて頂きました。連日30℃を超える暑い日が続いていましたが、前夜には小雨が降り、15日は涼しい朝となりました。

当日は、雲陽分教会長様、奥様、陽直分教会長様にご参拝頂き、おつとめもおつとめ下さいました。祭典講話の中で、雲陽分教会長様は「たすけの道場たる教会の設置を、当時の先輩先生方が願い出て、神様にお許しを頂いた。そのことを、今の私たちが忘れることなく、当時と変わらぬ思いでつとめさせて頂くところに、変わらぬ教会の姿がある。」とお話し下さいました。

全員で記念写真を撮り、お食事会は、にぎやかでなごやかなひと時でした。

この度から御霊舎側(神殿向かって左側)脇中段の壁に歴代の会長様方【初代(萬代)、2代(原)、3代(高見)、4代(杉原)】のお写真を飾り、おつとめを直接ご覧頂けるようにしました。歴代会長様のお写真を通して、なつかしく思い出させて頂き、お仕込み、お話し下さったことを思い起こして、心の励みにして勇んで通らせて頂きたいものと思います。

当日の参拝者は、大人 53人、子供 9人でした。ご参拝、ありがとうございました。

～7月の予定～



記念祭参拝の皆さんと



1日(月)	陽 平 例祭
6日(土)	陽 平 四代会長五十日祭
7日(日)	青年会 ハートクリーンキャンペーン
10日(水)	檜 岡 月次祭
15日(月)	陽 平 月次祭
20日(土)	雲 陽 月次祭
24日(月)	大教会 月次祭
26日(水)	おちば 月次祭 ・ 陽平 遥拝式
26日～8/4	おちば こどもおちばがえり
27～29日	こどもおちばがえり 雲陽団体

陽平分教会

立教百七十六年六月

月次祭祭文（八十周年記念）全文

是の神床にお鎮まり下さいます。親神
天理王命の御前に 陽平分教会長杉原
義行 慎んで申し上げます。

親神様には人間の陽気ぐらしをする
のを見て、共に楽しみたいとの思召しか
ら、この世無い世界、無い人間をお創り
になり、今日に続く長の年限、天にては
月日とお現れ下され、世界に於いては、
火・水・風のお働きを、人間身の内に入
り込んでは、温み水気五分五分の守護を
なし、生きとせ生けるもの、草木に至る
までの萬のもの一切を育み下され、尚、
天保九年十月二十六日、旬刻限の到来と
共に教祖を月日の社として、この世の表
にお現れになり、よろずいさいの理を説
き明かし下さいました。

教祖の口を通して初めて、究極の教え
をお聞かせ頂き、更に教祖の御身を以て
五十年の長きにわたりお通り下された、
たすけ一条の尊い真実のひながたによ
って陽気ぐらしへの道をお教え頂き、又
更には元のやしきに留まり、今なおご存

命の理をもって、世界だすけの道の先頭
にお立ち下されてお導き下さいますお
陰により、今日結構にお連れ通り頂いて
おります御慈悲の程は誠に勿体ない有
難い極みでございます。

私共は御高恩を拝して届かぬながらも
日々御恩奉仕の道を辿らせて頂いてお
ります。その中に、今日の吉日は当教会
にお許しを頂いた六月の御祭りをつと
めさせて頂く日柄でございますので、御
前に心づくしの御供物を献じ、只今から
よろづたすけのおつとめを続いて陽気
てをどりを勇んでつとめさせて頂きま
す。

昭和八年四月二十四日、陽直分教会と
共に教会設立のお許しを頂き、今年で八
十周年を迎えました。六月の月次祭に合
わせて、八十周年記念の思いも込めてつ
とめさせて頂きます。

今日の日を乐しみに参り集いました参
拝者一同がお歌を唱和しつつ、歴代会長
様方を偲び、真実込めて伏し拝む状をご
承覧下さいまして、親神様にも一段とお
勇み下さいます様お願い申し上げます。
今日の結構な陽平の姿をお見せ頂いて

○ 詰所伏せ込みひのきしん
おぢばがえり雲陽団体 ○

日程 8月26日～27日

団費 10,000円

詳細・申込は、教会まで。

おりますのは、親神様のご守護と御存命
の教祖のお導きによるものと存じます。
私共はこれからも、今までと変わるこ
となく、教祖をお慕い申し、おぢ一条に、
歴代会長様方や先人の用木、信者の方々
の歩まれたみちすがらに学び、お手本と
して、一人ひとりが親の思いを体して、
教祖百三十年祭の時旬のご用につとめ、
親々によるこんで頂くようつとめる所
存でございます。

親神様には皆の者の、この真心をお受
けとり下さいまして、尚も変わらぬ自由
のご守護と、この陽平分教会がたすけの
道場として栄え、世界だすけのご用をつ
とめさせて頂けますようお導きの程を
一同と共に慎んでお願い申し上げます。